

Ⅱ．結果の要約

1．出生数は減少

出生数は7,030人で、前年の7,140人より110人減少した。
出生率（人口千対）は7.3で、前年の7.4を下回った。
合計特殊出生率は1.54で、前年の1.55を下回った。

2．死亡数は減少

死亡数は12,549人で、前年の12,609人より60人減少した。
死亡率（人口千対）は13.1で、前年の13.0を上回った。
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く）、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ27.1%、16.7%、10.1%となっている。

3．自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△5,519人で、前年の△5,469人より50人減少した。
自然増減率（人口千対）は△5.8で、前年の△5.7を下回った。
平成10年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4．死産数は増加

死産数は177胎で、前年の148胎より29胎増加した。
死産率（出産千対）は24.6で、前年の20.3を上回った。

5．婚姻件数は減少

婚姻件数は4,326組で、前年の4,419組より93組減少した。
婚姻率（人口千対）は4.5で、前年の4.6より下回った。

6．離婚件数は減少

離婚件数は1,891組で、前年の1,914組より23組減少した。
離婚率（人口千対）は1.97で、前年の1.98を下回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているため、端数において合計が一致しない場合がある。